

文芸欄



俳句

紅梅会 (東灘区)

日輪の秋の音きく飛鳥寺
時雨とき羽結びしか鳥の群
山茶花のひっそりと咲く庭日和
山茶花の癒しを受けて天上寺
寒の月輝き澄める暁の空
晴れ渡る紅葉の夕べ朱の映えて
六甲の懐ふかし初紅葉

朋子
比佐美
扶喜子
美恵子
松子
里子
恵

梅苑会 (東灘区)

プランコやこぎ手も帰り夏夕日
どくだみの十字の灯宵の庭
夏まひる参院選の声もせつ
緑蔭をさがしながらのプレーかな
宝愛句らぶ (中央区)

清子
千穂子
孝子
しづ子
和子
悦子
千枝子
道子
和志
哲男
啓臣

梅の美会 (兵庫区)

古民家や解体済みて秋の風
鬼百合の種弾けおり友の墓
越して行く児に降るように蝉時雨
秋茜群れ飛び高くまた低く
切り取りて額に入れたき里の秋

山口 茂子
岡田富早恵
藤井 歌子
栗野 富江
山田 朝子

花山短歌会 (北区)

なぜなのか考えながら道を行く今年は葛に花多く咲く
砂浜の岩に腰掛け明石大橋孫はカニ採り我は一首を
コーヒーに水玉小さく浮べつハートの容の砂糖は沈む
救急車呼んでと友の電話あり焦るな焦るな焦る我なり
日の暮れて六甲の山霧ふかくして家族の帰り案じつつ待ちぬ
未知の人旧知の如く笑み語りミニコープでの小さき幸い

山田加壽代
磯元カヨ子
古林 保子
清水 恵子
木下いく子
船崎めり子

◆個人

雨多き今年の夏や油蟬ジージー鳴くの初めて聞いた

(東)武田 勝子

青葉クラブ (北区)

鉄瓶に白き湯気立つ秋の朝
秋涼しFM聞きつ草引く吾
花木榿高きに咲きて雲ゆるく
高原ささゆり会 (北区)

馬場みつえ
山本 恒雄
前川 弘子

八月尽軍国の妻百寿とか

キユンと鳴けり突きし魚に息止まり
新蕎麦やがんこ親父の古前掛け
忘れぬ亡夫は写真に白露かな
蝉時雨テレビ歓声消し去りて
ひまわり句会 (北区)

南 久美子
若林 節子
松村二三枝
山下 久一

雷鳥の焼菓子頂き仏前に

シルバーや夏風通し輪投げせり
ひよどり台句会 (北区)

塩見 光子
田中 弘子
中井 光子
矢谷登美子

爽やかや大気の匂ひ地の匂ひ

雨上がり新涼の風今朝の庭
涼新た口紅拭きて齒科医まで
新涼の朝の庭掃く巫女二人
好きな海好きなどだけ見る藍浴衣
鮮やかに金色のつぶ滴れり
滴りや苔に包まる摩崖仏
ホバリング水面に尾刺す赤とんぼ
山清水滴り落ちて村の井戸
新涼や境港の鮮魚来る
新涼や古き土蔵に風を入れ
福寿草句会 (須磨区)

黒田 久江
秋山 弘之
金行 隆
岸下 庄二
北条 幸夫
脇坂有多子
増田 嗣夫
川原 正
松本 洋子
藤井久美子
久松 礼子

明日日在るを当然のごと髪洗ふ

岩田美代子
松下修二郎

呼び声にみな立ち止り虹仰ぐ

エコ袋色の透けをり夏野菜
多間台ときわ会文芸部 (垂水区)

上原 綾子
林 慎一

雲去りぬ狭き庭と萩三味

藤袴浅黄斑蝶に恋してる
憶良より秋の七草続きおり
自生する一度は見たいおみなえし
ローカルの列車一両芒原
草群れる水辺に凜とした桔梗咲く
桃山台クラブ文芸部 (垂水区)

中村佳代子
大畑留理子
久下 順司
樋山 隆夫
山本雄二郎
木村 敏博

空蝉や見舞も叶わず夫逝きて

やとと来た残暑見舞いの法師ゼミ
きらく句会 (西区)

田畑美恵子
大上 昭敏

天空の城に攻め入る夏の霧

黒布掛けピアノは晩夏の曲を秘め
梵鐘の一打に紅葉揺れにけり
夏帽子娘と逃避行まずホテル
初盆に祭壇の友微笑みて
日暮れても不思議に赤き秋の雲
月が丘むつみ会 (西区)

田野 湯仙
森本 珠実
山本スミ子
大橋 治子
喜田 弘征
阪本 道子

美々しさや庭さるすべり長期咲く

藤森 勝子
川上 富範

葉陰にて黄色変身胡瓜かな

猛る夏折鶴らんを机上に活け
川柳

(西)寺岡 洋子
(西)濱頭ミノル

桂木ひふみ会 (北区)

神戸市のシンボルやはり風見鶏
前向きに生きて見つけた虹つかむ
マイナンバー二万につられそくさと
たぶん金持屋根のてっぺん風見鶏
徘徊者探す家族が道迷う

荒木 宗Q
京念久美子
笹岡 淑子
杉尾 悦子
大和ケント

筑栄会 (北区)

プロスポーツ一番の敵はコロナです
西瓜盗り割ったはよいが熱ちちち
飲むまいと思へど今日も理屈つけ
今回もぎりぎりまでに句が出来ず
保護猫が我が家に住みて早五年
世界中異状気候で困ってる
日と曜日わからないまま明日がくる

三 茶
かほう
あきら
ときこ
とし子
まり子
まさこ

◆個人

コロナ禍で掃除がふえて部屋ひかる
あんだ誰30年ぶりの弟に
我が自慢あのカートチャンのコイバナよ
かしましい通い薬のコマーシャル
コロナにも負けじとばかり蝉時雨
秋祭り腰にフンドシ顔マスク
グランドゴルフやっているから若いのか
夕映えにふるさと想う「オーシンツク」

(東)辻本美佳子
(東)早川キミエ
(東)増田 芳之
(北)北野 利一
(垂)小高 肇
(西)萩原 浩一
(西)藤原 健二
(西)藤長 文子

日曜日嫌だと言った孫に聞く

(北)清水 久子

投稿募集

文芸欄への投稿をお待ち
しています。皆さまの作
品をお寄せください。
作品、住所、電話番号、
単位クラブ名、お名前を
必ずご記入ください。
(投稿先)

募集期間

締切は発行月の前々月15日必着
です。詳しくは左記の通りです。
掲載月 投稿募集期間
1月号 9月16日~11月15日
3月号 11月16日~1月15日
5月号 1月16日~3月15日
7月号 3月16日~5月15日
9月号 5月16日~7月15日
11月号 7月16日~9月15日
たくさんのご投稿をおまちして
おります。

〒650-0016
神戸市中央区橋通3丁目4-1
KOBEシニアクラブ事務局
「広報紙」係
FAX 341-8524
※〇〇は俳句短歌川柳へなぶり等